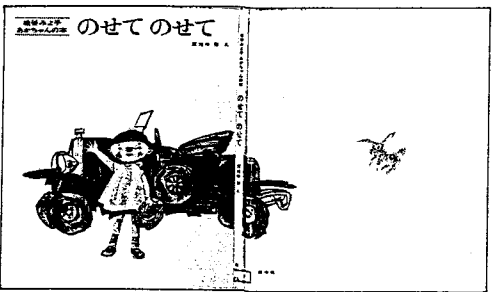


子どもたちといっしょに



「のせてのせて」

松谷 みよ子 文  
東光寺 啓 絵

(童心社)

お父さん、お母さんも小さい頃に  
読んだことがあるかもしれません。  
まニちゃんがうんでんする赤いじ  
どうしゃが走っていくと、次々に、

うさぎやくま、ねずみの手を上げて、「のせてのせて」と待っています。そして、みんなを乗せてまっくらなトンネルを抜けます。すると、何こうには何が見えるでしょう。

とっても短い文章ですが、すっごくわくわくする物語です。初めて絵本を読むお父さんお母さん、ぜひお子さんと一緒に読んでください。

＜平成16年度新潟市立白根図書館利用状況＞

・しろね図書館・

・ブックバス・

| 来館者数(人) | 貸出冊数(冊) | 一日平均(冊) | 予約件数(件) | 利用者数(人) | 貸出冊数(冊) |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 184,402 | 179,097 | 628     | 2,431   | 4,063   | 11,050  |

昨年10月に来館者が80万人を突破し、学習館で記念のセレモニーが行われました。次は、目指せ100万人です。調べたい事がある時、一日中、くすり読書がしたい時など、生活の一部に図書館を気軽にお使い下さい。職員一同、笑顔でお待ちしております。

5月の行事 ブックバス

|                                     |                                      |                                |                                                        |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 4<br>(水) 絵本のじかん 3:00~               |                                      | 18<br>(水) 絵本のじかん 3:00~         | 新飯田小 12:35~13:20<br>茨城根小 13:30~14:30                   |
| 6<br>(金)                            | 白井中 12:55~13:35<br>白井小 14:00~15:15   | 19<br>(木)                      | 白根中 12:55~13:35<br>左根地C 14:00~14:40<br>左根小 15:00~15:45 |
| 7<br>(土) おはなし会 3:00~                | 大畑地C 14:30~15:00<br>根岸農公 15:30~16:00 | 20<br>(金)                      | 白井中 12:55~13:35<br>白井小 14:00~15:15                     |
| 11<br>(水) 第25回おはなし会<br>絵本のじかん 3:00~ | 根岸小 13:10~13:50<br>大鷲小 14:30~15:45   | 21<br>(土) おはなし会 3:00~          | 大畑地C 14:30~15:00<br>根岸農公 15:30~16:00                   |
| 12<br>(木)                           | 白根北中 13:00~13:40<br>大通小 14:00~15:30  | 25<br>(水) 絵本のじかん 3:00~         | 根岸小 13:10~13:50<br>大鷲小 14:30~15:45                     |
| 13<br>(金)                           | 白根小 13:00~13:50<br>小林小 14:30~15:30   | 26<br>(木)                      | 白根北中 13:00~13:40<br>大通小 14:00~15:30                    |
| 14<br>(土) おはなし会<br>おはなし会 3:00~      | 新飯田農公 14:30~15:00<br>戸石公 15:30~16:00 | 27<br>(金)                      | 白根小 13:00~13:50<br>小林小 14:30~15:30                     |
| 15<br>(日) 第55回読書会 1:30~             |                                      | 28<br>(土) おはなし会<br>おはなし会 3:00~ | 新飯田農公 14:30~15:00<br>戸石公 15:30~16:00                   |

# しろね図書館だより

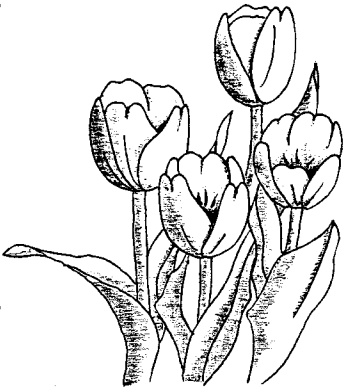
No. 60

発行 新潟市立白根図書館  
平成17年5月1日

ようやく、<sup>がくしゅうかん</sup>学習館の周りにも色とりどりのチューリップやパンジーが咲き誇り、<sup>あつ</sup>過ごしやすい季節になってきました。

ふれあい広場にある、故子野<sup>のぼ</sup>幾<sup>さね</sup>さんの作品「慈」が白根ロータリークラブの寄贈により、4月からライトアップされました。母子の愛情豊かな像が澄んだ夜空をバックに映し出されています。

これからだんだんと暖かくなってきます。夕方、ちまっと散歩に寄ってみてはいかがでしょうか。



4月の

来館者 ----- 12,710 人  
貸出冊数 ----- 14,664 冊  
予約件数 ----- 153 件

ブックバス利用者 ----- 241 人  
ブックバス貸出冊数 --- 683 冊

リクエスト情報(しばらくお待ち下さい)  
1位・世界の中心で、愛をさけぶ(8名)  
2位・ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団(6名)  
3位・日暮らし上下(4名)  
4位・いま、会いにゆきます(3名)  
5位・キッパリ!  
終戦のローレライ  
デルトラ・WESTⅢ-3(2名) 他

第55回読書会

「おやすみなさいトムさん」

ミシェル・マゴリアン 作  
中村 妙子 訳 (評論社)



日時: 5月15日(日) 1:30~3:30  
場所: 白根学習館 ルーム2 (しろね図書館友の会 共催)

大戦中のイギリス、疎開先で練り上げられる老人トムと少年ウィリアムの心通う物語。登場する他の人々も様々で、実に生き生きと描かれており、涙なしには読めません。

～図書館員がおすすめるこの一冊～

「ポケット詩集」 童話屋

(ティーン911ポ)

満開のさくらもあつという間に散りました。先日ブックバスで出かけた時に桜の花びらが宙を舞っているのをみて、まど・みちおさんの詩を思い出しました。それは、こんな詩です。

|                        |                     |                                |                                 |                            |                                    |                         |                        |
|------------------------|---------------------|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------|------------------------------------|-------------------------|------------------------|
| さくらの<br>はなびら<br>まど・みちお | えだを<br>はなれて<br>ひとひら | さくらの<br>はなびらが<br>じめんに<br>たどりつた | いま<br>おわたつたのだ<br>そして<br>はじまつたのだ | ひとつの<br>ことが<br>さくらに<br>とつて | いや<br>ちぎゆうに<br>とつて<br>うちゆうに<br>とつて | あたりまえすぎる<br>ひとつの<br>ことが | かけがえのない<br>ひとつの<br>ことが |
|------------------------|---------------------|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------|------------------------------------|-------------------------|------------------------|

今回、紹介する本にはとびきりの詩がたくさん収められています。心の奥がかさかさにかわいていたら心をうつ言葉に涙するかもしれません。何かに悩んでいればそっと背中をおしてくれるかもしれません。“いい詩は、生きる喜びにあふれている”と編者は言います。新しい環境のなかで少し疲れたり、小さな幸せを感じたらそんな気持ちをじっくり見つめてみることも、たまにはいいかもしれません。子どもにだって、美しい詩を声にだして読んでみる事できっと大人よりたくさんの事を感じることができるとおもいます。小さいうちにたくさんの素晴らしいものにふれて、出会って、それを奥深く分かる時まで大事にしていくのもいいですね。歲月とともにゆっくりと心に刻んでいくように・・・



生きていく毎日の中で、いつも思いだせる言葉があったならどんなことも、もっと楽しんで受け止められる気がします。子どもでも、大人でもそれぞれに私はこれだという詩に出会える一冊です。新川和江さん、長田弘さん、茨木のり子さんとかくさんの作者の中であなたの心に届いた詩は何ですか。いつもそばにとびきりの詩をおいて読んでみてはいかがでしょうか。

【司書 大野 恵子】

第五十四回 読書会

平成十七年四月十七日(日)

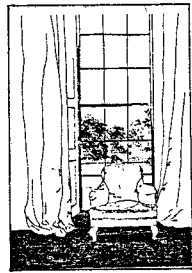
午後一時三十分～三時三十分

参加者五人

『尋ね人の時間』

新井 満 作

文藝春秋



今回の作品は、今年二月二十六日に、しるね図書館主催の講演会にも出席いただいた、新井満さんの第九回芥川賞受賞作品「尋ね人の時間」をとりあげました。

□ □ □ □

参加者の感想

★作者新井満さんと講演会の機会にお会いしお話をすることができたが、その前にこの作品を読んでおけばよかった。

★作者の掲載写真がとても若くトレードマークのひげが無いのがさびしい。

★先月の読書会、山本周五郎著「柳橋物語」では主人公の女性が元禄時代という時代設定であつても5年間もまつていたのに、この作品の主人公夫婦は現代ではあたりまえとなつてきている離婚について十七年前に既に現実となつていた。

★離婚して新しい夫との生活に必要な荷物の引越を前の夫に手伝わせている女の神経がわからない。

★新しい彼を選んだ理由がはっきりしてこない。  
★作品の中で出てくる中世南フランスに起源を持つと言われる民族舞踊曲に合わせ老人たちが踊るリゴドンダンスは一歩歩いて、二歩下がる、つまり、うしろ向きに一歩ずつすすむ踊りである。人生で、老人たちの前方とは未来のことで、未来のとは、確実に近づきつつある死のことであり、だから、うしろ向きになる。そうして、できることならば、自分が生きてきた生の方へ、つまり過去の方へ一歩でも戻りたいと願う。しかし、そんな思惑とは無関係に、非情なる時の流れ

は老人たちをじりじりと一歩ずつ未来(死)の方へ押しやるうする。だから老人たちは踊り現実からのがれたいのでは。  
★この作品は夢の中の話と現実の話とが交互に出て来ているのでは。  
この作品に描かれている夫婦のドライな離婚は、現代では普通となっているが、この作品が発表された十七年前には考えられないことではなかったのではないだろうか、と考えられる。

次回の読書会は

「おやすみなさいトムさん」

ミシェル・マゴリアン 作

中村 妙子 訳

五月十五日(日)

午後一時三十分～三時三十分

学習館二階ルーム2

本は、図書館カウンターで貸出しています。どなたでもお気軽にご参加下さい、お待ちしております。

(星 島 等)